

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一般的・専門的な語彙力 ②既習事項を生かして問題解決を行う力	③内容を理解する読解力 ④根拠をもって説明する力 ⑤自分の考えを他者に発信する力	⑥粘り強く取り組む力 ⑦疑問をもち新たな問題を見出す力 ⑧見通しを立てたり振り返ったりする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①	①毎日の音読と漢字練習、読書パスポートを利用した読書等をとおして、語彙を豊かにする。	
算数	②	②半具体物を活用し、数量感覚を養うと共に、計算カードと計算ドリルやプリントを活用した家庭学習をとおして、基礎・基本の定着を図ることができるよう指導を行う。	
生活	⑤	⑤体験的活動をとおして、自分の考えをもち、友達に伝えたいことを見付ける力をつける。	
音楽	① ⑤ ⑥	①⑥共通事項の学習をとおして、音楽用語を理解し演奏技能を身に付けさせる。 ⑤共通事項の学習をとおして、楽しく歌ったり演奏したりできるようにする。	
図画工作	⑥	⑥色々な材料や方法、形や色で好きな物好きな色でやってみたいことを見つけ、最後まで粘り強く取り組むことができるようにする。	
体育	② ⑥	②⑥友達と一緒に力一杯遊んで、基本的な動きを身に付け、楽しく活動できるようにする。	
英語活動	① ⑤	①友達と一緒に英語を活用して遊ぶことをとおして、簡単な英語の語彙や表現を身に付けさせる。 ⑤友達と一緒に英語を活用して遊ぶことをとおして、楽しく活動できるようにする。	
特別の教科 道徳	② ⑧	②自分自身の問題として受け止めることができるようにする。 ⑧本時のねらいを踏まえ、適切な発問や指導方法等を用意する。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一般的・専門的な語彙力 ②既習事項を生かして問題解決を行う力	③内容を理解する読解力 ④根拠をもって説明する力 ⑤自分の考えを他者に発信する力	⑥粘り強く取り組む力 ⑦疑問をもち新たな問題を見出す力 ⑧見通しを立てたり振り返ったりする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ③	①③読書パスポートで読書の貸出冊数を増やしたり、定期的な言コレタイムを確保したり、言葉の宝箱を利用させたりする。	
社会	⑦	⑦学習問題をたて、様々な資料を活用しながら、解決させる。	
算数	②	②授業の導入時に、既習事項を復習したり、既習事項が振り返られる掲示物を掲示したりする。	
理科	④	④実験結果をもとに、問題に対する答えを考察させる。	
音楽	① ⑥	①共通事項の学習をとおして、音楽用語を身に付け、演奏技能に生かすことができるようにする。 ⑥最後まであきらめずに演奏できるようにする。	
図画工作	⑥	⑥作品にさらに工夫を加えることで、粘り強く取り組むことができるようにする。	
体育	⑤	⑤撮影した動画や、見本資料を参考にしながら、児童同士でアドバイスをしたり、教え合ったりして、お互いに学び合う授業を行えるようにする。	
外国語活動	② ⑤	②教師の言葉を聴き、友達とのやり取りをとおして、英語の語彙や表現を身に付けさせる。 ⑤教師の言葉を聴き、友達とのやり取りをとおして、進んでコミュニケーションを取ろうとする態度を養わせる。	
特別の教科 道徳	⑤	⑤3、4人のグループで、自分の意見を話し合う活動を取り入れる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①一般的・専門的な語彙力 ②既習事項を生かして問題解決を行う力	③内容を理解する読解力 ④根拠をもって説明する力 ⑤自分の考えを他者に発信する力	⑥粘り強く取り組む力 ⑦疑問をもち新たな問題を見出す力 ⑧見通しを立てたり振り返ったりする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③	③単元の見通しをもてる導入と単元のゴールの設定を行い、学びの道筋を児童が理解できるようにする。	
社会	④	④グラフや表を基に事実を理解して、学習課題に取り組めるように資料の提示の仕方を工夫する。	
算数	② ⑥	②⑥個別進度学習や習熟度別学習を行い、一人一人の学力に応じた指導を行う。	
理科	⑧	⑧ICTを活用して、実験を記録し、予想と結果がどのようになったか客観的に理解できるようにし、既習事項を生かした自分の考えを書けるようにする。	
音楽	② ⑥	②既習事項をもとに、楽譜を読む力を身に付け、自分たちの演奏に生かすことができるようにする。 ⑥みんなで演奏するために粘り強く努力できるようにする。	
図画工作	⑥	⑥グループで一人一人の工夫を見合ったり、指摘し合ったりして最後まで取り組めるようにする。	
家庭	⑧	⑧既習事項とのつながりを明らかにしてソーイングや調理実習をし、見通しをもって作業できるようにする。	
体育	⑤	⑤45分間の中で運動量を確保しながら、既習事項を生かした場づくりを児童が主体的に行えるようにする。	
外国語科	⑤	⑤単元のゴールを、ALTや海外の小学生とのやり取りすることで活動の意味をもてるようにする。	
特別の教科 道徳	⑤	⑤一人一人が善悪の判断を正しくできるように、映像資料や実際の場面を想起させる授業を行う。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
教科担任制	・ 中学年以上での教科担任制。
道徳科	・ 学年ごとに道徳ノートの活用。 ・ 年に一度、道徳の授業を保護公開。 ・ 授業に対する振り返り。(今っ子の振り返り)
英語活動・外国語活動・外国語科	・ クラスルームイングリッシュの掲示及び配付。 ・ A L T の給食時における教室訪問及びコミュニケーションについての取組。
S D G s の視点を 取り入れた教育	・ 学校課題研究にあわせて、全学年でS D G s の視点を取り入れた教育の推進。 ・ 3年生以上では、「総合的な学習の時間」の学習でまとめたことを放送で発信、各学級で給食の時間等にS D G s に関する動画視聴。家庭への啓発。
その他	・ 主要教科以外の、随時授業公開。
家庭教育との連携	
家庭への啓発	・ 連絡を密にとり、学校生活をとおして気が付いたことの共有と必要に応じての面談。 ・ 家庭学習への取り組み方と環境整備。 ・ 家庭学習に取り組む上でのポイントを示すことでの、習慣化の取組。